

2050ゼロカーボンちよだと千代田エコシステム(CES)

2024年9月24日

グリーンスタート合同会社

代表社員 岩崎 孝雄

(一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 理事)



1. 千代田区気候非常事態宣言（抜粋）

千代田区気候非常事態宣言 ～持続可能なまちゼロカーボンちよだに向けて～

近年、大型台風や集中豪雨、記録的な猛暑など、気候変動の影響によると考えられる異常気象が頻発し、甚大な被害が発生しています。

本区においても猛暑による熱中症や台風などによる水害のリスクに直面するなど、区民生活に多大な影響をもたらしています。

これらは、排出され続けている二酸化炭素の増加による地球温暖化の影響と言われており、今後も気候変動の影響による被害の頻発化、激甚化が予測され、もはや気候危機というべき非常事態に直面しています。

（中略）

本区は、ここに気候非常事態を宣言し、「2050ゼロカーボンちよだ」を掲げ、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。

そして、皇居を中心に緑と水辺が豊かな都心千代田区を、子どもたちやさらに未来の人々に引き継いでまいります。

令和3年11月5日

千代田区長 樋口 高 顕

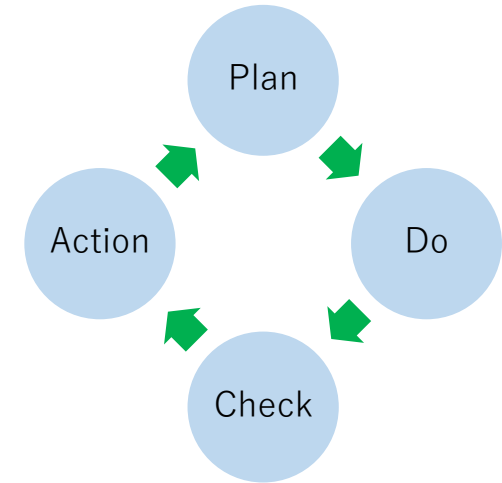
2. 環境マネジメントシステム（EMS）について

環境（**E**nvironment）：環境負荷の低減
環境保全の推進

+ 法令等の順守

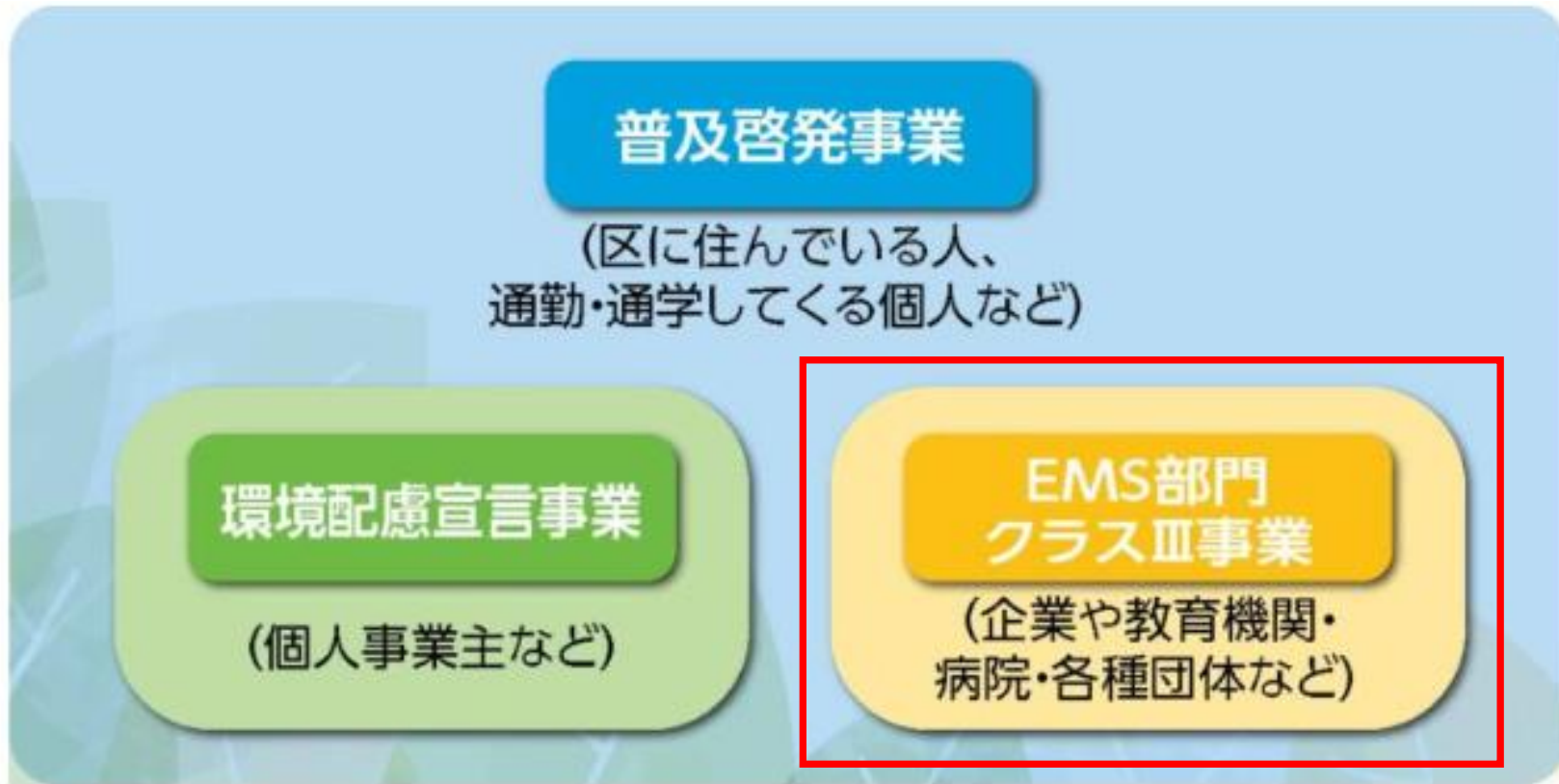
マネジメント（**M**anagement）：管理

システム（**S**ystem）：仕組み



CES：千代田エコシステム（CES：ChiyodaEco System）の略称で、区にかかわるすべての人々が取り組みやすい環境マネジメントシステム。

3. CESの3タイプの仕組み



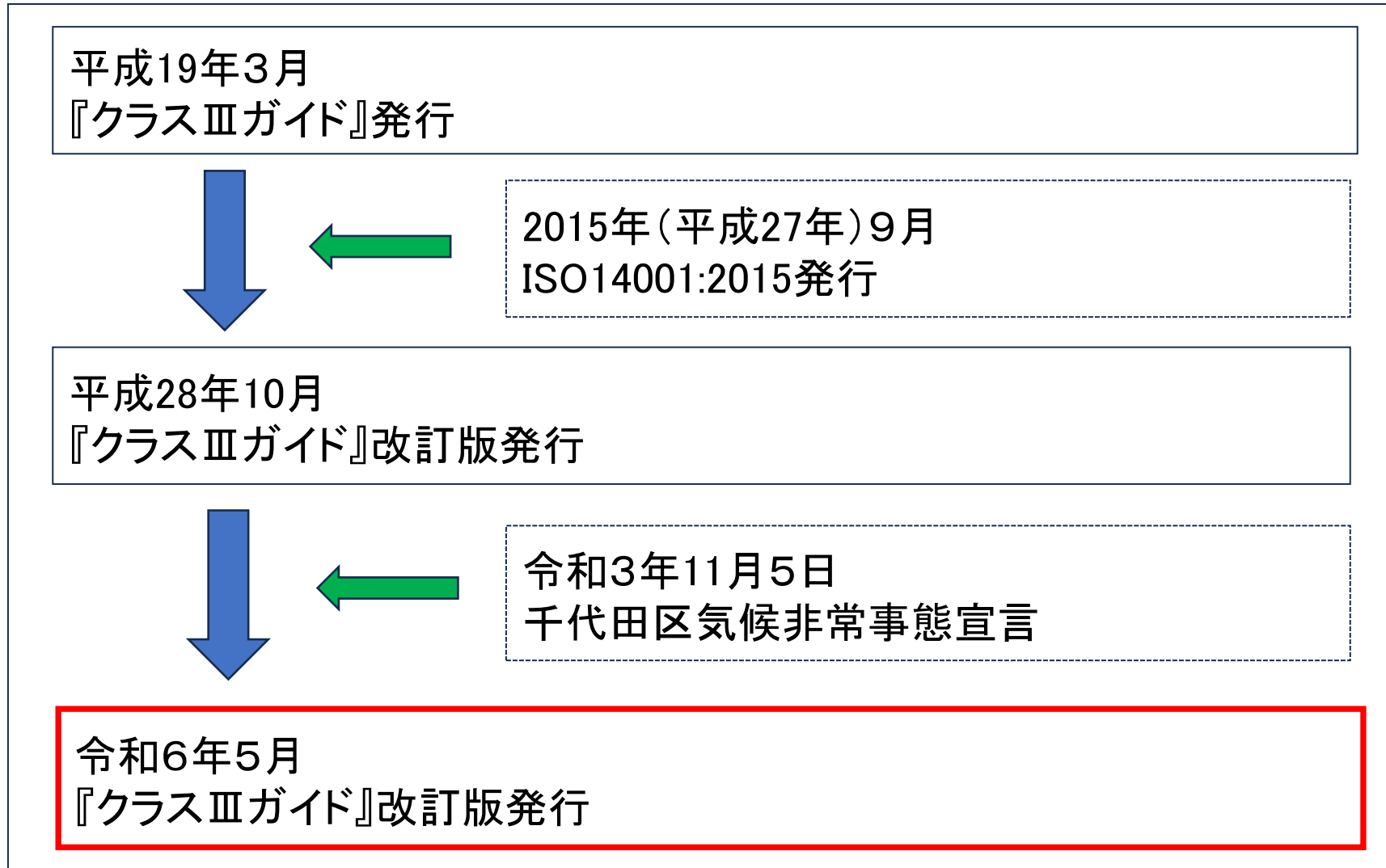
千代田区役所のEMSの経緯

平成15年8月～ISO14001を推進

平成16年8月～ISO14001を教育部門に拡大

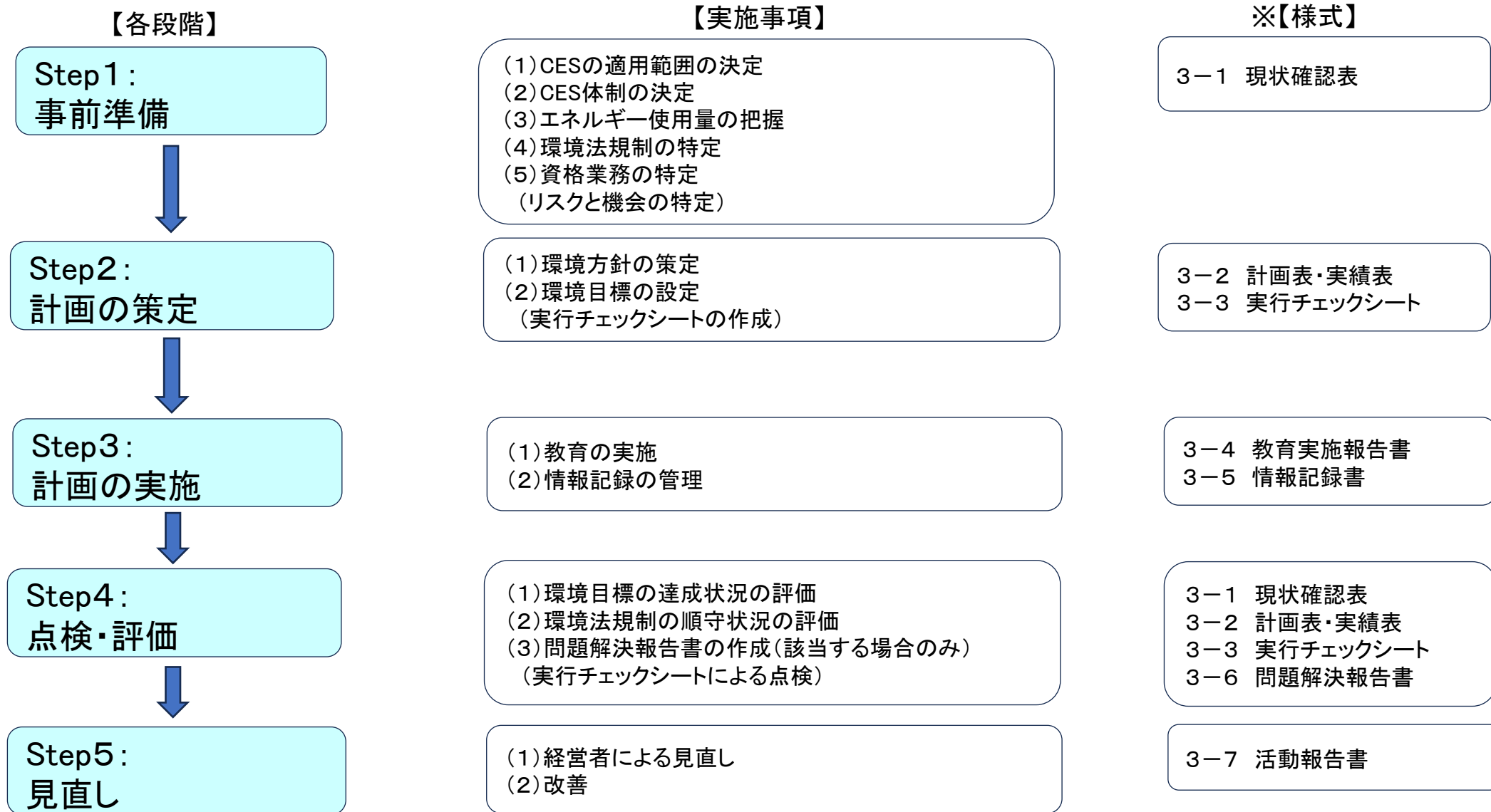
平成21年4月～CESクラスⅢの導入

4. CESクラスⅢガイドについて



出典:『千代田エコシステム(CES)クラスⅢガイド[改訂版]2024(令和6)年版』(CES推進協議会ホームページ)

5. CESクラスⅢ導入、運用の流れ



※様式の使用は任意であり、実施事項を満たしていれば、当該事業者によるもので可とする。

6. 千代田区環境方針 基本方針（抜粋）

基本方針

千代田区職員は、基本理念を踏まえ、実行計画及び地域推進計画等を実行するにあたり、千代田区独自の環境マネジメントシステムである「千代田エコシステム（CES）」を活用します。また、可能な限り数値目標を設定するとともに、PDCA サイクルに則り、日々、環境配慮行動を実践し、継続的に改善を図ることで CO₂ 排出量を削減していきます。

1 実行計画に基づき、区有施設全体でエネルギー使用量の削減に努めます。

区有施設の LED 化や新築改築時における省エネルギー化、機器の運用改善等により、エネルギー使用量の削減を推進します。

2 職員の省エネ行動を推進します。

- ① 節電要請等に応じた需給調整（デマンドレスポンスなど）、ノー残業デーの設定、始業時間前、昼休み及び残業時の最小点灯等により節電行動を推進します。
- ② 「千代田区 DX 戦略」と連携し、ペーパーレス化、オンライン会議等の省エネ行動を推進します。
- ③ 「通年輕装ガイドライン」により省エネルギー化を実行しながら働きやすい職場環境づくりを推進します。
- ④ 資源循環型社会に向けた取組みを推進します。

リデュース（Reduce）	物を大切に使い、ごみを減らします。特に、使い捨てプラスチックごみの削減を徹底します。
リユース（Reuse）	環境マイスターの取組み（マイバッグ、水筒・マイカップ、マイはしの利用）を実践し、使えるものは繰り返し使います。
リサイクル（Recycle）	ごみを資源として再び利用します。
リニューアブル（Renewable）	再生可能な資源への置き換えができるものを使用します。
- ⑤ コミュニティサイクルや公共交通機関の利用に努めます。
- ⑥ 出来る限りグリーン商品を購入します。
- ⑦ エレベーターの使用は控え、2up3down（上り2階までと下り3階までは階段を使用）を実施し、電気使用量の削減に努めます。
- ⑧ 職員一人ひとりが、「食べ残しをしない」、「残すほど買わない」、「賞味期限に近いものを買う」などの行動により、食品のロスを減らします。
- ⑨ 他自治体の環境活動の紹介等、環境に関する情報を職員間で共有します。

7. EMSの構築、運用のポイント

- (1) **トップダウン**で進めること。
- (2) **全員が当事者**として、主体的に取り組むこと。
- (3) **定期的に教育**を実施すること。
- (4) 点検の結果を**全員で共有**すること。
- (5) **未来志向**で進めていくこと。

